

中村 博美 議員

**議員** 若い方の目に留まる常総市の

茨城移住なび、常陽・筑波・茨城県信の三金融機関、宅建協会、建築士会、市ホームページやSNS等でPRしている。

**市民生活部長**

4年間ではなく、これからもずっと続けてほしい。また、県外への周知方法を尋ねる。

**議員**

29年度から33年度までの4年間の時限事業だが、32年度以降はこれまでの実績と成果を考慮し、検討したい。

**市民生活部長**

第二保育所閉所を中止にして、今後について保護者と地域一体での話し合いに戻してほしいという考えで質問する。着実に成果の上がつている施策、いきいき住マイル補助金制度による子育て世代の当市への転入件数は29年24件、30年30件だが、この制度はあと2年で終わるのか。

**議員**



子育て世代の方々が常総市に移り住む施策の取組は

答 住みやすさを情報発信する

全国的な人口減少だからといって、第二保育所を閉所して、少数を切り捨てるようなことはせず、子どもを育てる世代の人たちを増やして頂きたい。

現在、対象者410名中109名が未申請だが、再度案内通知をし、申請していただく予定。

**議員**

昨年9月の子育て支援の質問の時、子どもを3人以上産むことは大変勇気があるとの私の訴えで創設された多子世帯子育て応援金の申請状況を尋ねる。

**保健福祉部長**

出産から育児、切れ目のない制度は他自治体に負けていない部分がある。これだけ住みやすい常総市なんだと情報発信し、大なたを振るっていききたい。

**議員**

22年後では遅い。スピーディーな施策、大きな施策はないか。

**市長**

宣伝も含めた周知をさらに努力してほしい。また、合計特殊出生率1.39を2040年に2.1ポイントに上げる目標だが、

問 答 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI 問 答

岡野 一男 議員

あすなるの里に設置した物産館の当初の計画と実績について尋ねる。リフォームの費用、経費はどのくらいかかったか。

9月15日から現在までの稼働の日数とその売上高を問う。

**議員**

稼働日数は22日、売上高は合計で58万8050円である。

**経済環境部長**

どこが物産館の事業主体か。あすなるの里である。

**議員**

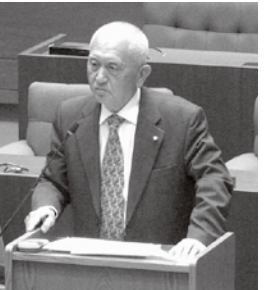
物産館の業務内容について、すべて責任はあすなるの里にあると理解してよいか。

**議員**

責任は、商工観光課、農政課あすなるの里の三者で進む方向を決めていくため三者にある。

**議員**

あすなる物産館の他に2号店、3号店となる物産館を作る計画はあるのか。



あすなる物産館の他に2号店、3号店となる物産館を作る計画はあるのか。

答 現時点で計画はない

あすなるの里に作った物産館が、当初、第1号店と聞いていた。今後、どこかに2号店、3号店と物産館を作っていくのか。

現時点ではあすなる物産館以外の計画はない。

**議員**

あすなるの里の入園者よりも隣の自然博物館のほうが非常に入園者は多い。観光物産を目的にした広域連携を坂東市とやっていく考えはあるか。

**議員**

自然博物館と連携したイベントを企画するなど、博物館からあすなるの里に来る方を増やし、売り上げも伸ばしていきたい。

**議員**

地域経済を振興させていくならば、身近にある既存の施設を活用しながら、名産品を扱い、市内の経済の振興・発展につなげるべき。移動物産館などで当市の名産品をPRしてほしい。

**議員**

移動物産館は今後やっていくか。市と物産協会の中で検討する。

**議員**

あすなる物産館：30年9月にあすなるの里正面入り口前にオープンした物産館。土日祝日に開店しており、地元で作られたまんじゅうや煎餅、お茶などが販売されている。

**議員**

あすなる物産館：30年9月にあすなるの里正面入り口前にオープンした物産館。土日祝日に開店しており、地元で作られたまんじゅうや煎餅、お茶などが販売されている。